

2026 年度阪南市長杯争奪大会規定及び注意事項

1. 本大会は、2026 年公認野球規則及び競技者必携に準じて行うとともに特別グラウンドルールを採用する
2. 選手登録は、学童の部は小学校 6 年生以下、ジュニア・6 人制の部は小学校 4 年生以下の児童で構成され、各大会に登録された選手 9 名以上 15 名以内を適用する。6 人制は 6 人以上 15 名以内とする。
3. 試合球はマルエス・J 号を使用する。
4. 学童は 6 回戦または 80 分、ジュニア・6 人制は 5 回戦または 60 分 を超えて新しいイニングには入らない。同点の場合は○×式抽選により決する。またブロック決勝より特別延長戦（タイブレーク方式、無死 1・2 塁）を行う。但し特別延長戦は 1 イニングまでとし、（決勝戦は 2 イニング）それでも勝敗を決しない場合は○×式抽選により決する。ブロック決勝以降は学童 80 分、ジュニア・6 人制は 60 分を超えて新しいイニングに入らないが、同点の場合はその時点からのタイブレークを行う。尚決勝戦については時間無制限とする。
5. 得点差によるコールドゲームは、学童は 4 回以降 7 点差、ジュニアは 3 回以降 7 点差、6 人制ジュニアは 4 回以降 9 点とする。（6 人制は 5 点で攻守交替）
6. 試合中、降雨又は日没で続行か又は中止にするかは審判員の判断で決定するもので両チームの意見を申し出ることは出来ない。
7. 学童 4 回・ジュニア・6 人制は 3 回終了前に降雨または日没で試合が不可能となった場合、再試合とする。
8. 背番号は監督 30 番、コーチ 29 番(28 番)、主将 10 番とする。ユニフォームは同一のものを着用すること。なおパンツはストッキングが見えるものを着用すること。ロングタイプは着用不可。スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。ただしアップシューズは着用不可、また金属製のスパイクの着用を禁止する。
9. 試合中トラブルの生じた場合、その試合の担当審判員が責任をもって処理するのはもちろんであるが、当該審判員のカウント及びルールの誤りについては、その試合の責任審判員がその解決に当ることが出来る。